

2002年8月20日

2002 - 176

「HITACHI 9000V シリーズサーバ・ミッドレンジ/ローエンドモデル」を機能強化
- 最新鋭・高性能プロセッサ「PA-8700+」の採用により大幅にコストパフォーマンスを向上 -

日立製作所 ユビキタスプラットフォームグループ(グループ長&CEO:百瀬次生 以下:日立)は、ヒューレット・パッカード社の最新鋭 RISC プロセッサ「PA-8700+」を搭載した「HITACHI 9000V シリーズサーバ rp8400,rp7410,rp5470,rp5430」を製品化し、本日から販売開始します。

今回販売を開始する「HITACHI 9000Vサーバ」は、ミッドレンジクラスの「rp8400」,「rp7410」およびローエンドクラスの「rp5470」,「rp5430」の4モデルであり、最新鋭のRISCプロセッサ「PA-8700+」(875MHz)をそれぞれ最大16/8/4/2プロセッサまで搭載できます。これにより現状モデルに対し、約23%のコストパフォーマンスの向上を実現しました。

新製品の価格・出荷時期

モデル	プロセッサ (周波数)	プロセッサ数	キャッシュ メモリ	メモリ容量	標準価格 (税別)	出荷開始時期
rp8400		2~16		2GB~64GB	2,374万円~* ₂	2002年10月中旬~
rp7410	PA-8700+	2~8	0.75MB/1.5MB * ₁	1GB~32GB	1,645万円~* ₃	
rp5470	(875MHz)	1~4		256MB~16GB	654万円~* ₄	2002年9月末~
rp5430		1~2		256MB~8GB	599万円~* ₄	

*1) プロセッサ毎の命令/データ用キャッシュ・メモリを示す

*2) CPU 2way、2GBメモリ、36GB HDD、DVD-ROM、HP-UX使用権を含む

*3) CPU 2way、1GBメモリ、36GB HDD、DVD-ROM、HP-UX使用権を含む

*4) CPU 1way、512MBメモリ、36GB HDD、DVD-ROM、HP-UX使用権を含む

他社商標注記

- ・ HP-UX は、米国 Hewlett-Packard Company のオペレーティングシステムの名称です。
- ・ PA-RISC は、米国 Hewlett-Packard Company の商標です。
- ・ superdome は、日本ヒューレット・パッカード(株)の日本における商標です。

お客様問合せ先

HITAC カスタマ・アンサ・センター(HCA センター) TEL:(0120)2580-12

製品情報

インターネット:「HITACHI 9000V シリーズホームページ」アドレス
<http://www.hitachi.co.jp/9000v/>

取扱事業部・照会先

株式会社 日立製作所 ユビキタスプラットフォームグループ
インターネットプラットフォーム事業部マーケティング部【担当:中島】
〒140-8572 東京都品川区南大井六丁目27番18号 日立大森第2別館
TEL:03-5471-2553(ダイヤルイン)

報道機関問合せ先

株式会社 日立製作所 情報事業統括本部 経営企画本部 経営企画部 広報グループ【担当:内山】
〒101-8010 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地
TEL:03-5295-1682(ダイヤルイン)

以上

新製品の特徴

「rp8400」の特徴

- ・プロセッサは、2.25MB(命令用 0.75MB、データ用 1.5MB)のキャッシュメモリを内蔵し、高性能化を実現した最新鋭 PA-RISC「PA-8700+」(875MHz)を採用しています。
- ・「rp8400」は、「superdome」と同様に「セルボード」と呼ばれるボード上に最大 4 個のプロセッサと最大 16GB のメモリを搭載しており、システムは「セルボード」単位で最大 4 個まで拡張でき、さらにセルボード単位で異なる速度のプロセッサを搭載することができます。
- ・各セルボードは、16GB/秒のピーク性能を持ったクロスバ・バックプレーンで結合されているためプロセッサ数に応じたスケーラブルな性能向上を実現しており、オンライントランザクション処理性能として約 17 万トランザクション/分、現行モデル比約 20%の性能向上を実現しています。
- ・「superdome」で採用したパーティショニング機能を提供します。「rp8400」は、セルボード単位に分割するハードウェアパーティショニング機能により 2 パーティションに分割できます。また、ハードウェアパーティション内をプロセッサ単位に分割するバーチャルパーティショニングも可能であり、最大 16 台の論理的なサーバ上で業務処理を実行できます。

「rp7410」の特徴

- ・プロセッサには最新鋭 PA-RISC「PA-8700+」(875MHz)を採用し、メモリは最大 32GB 搭載できます。また、セルボードの高速インターコネクト、パーティション機能、ホット・スワップ機能などハイエンドサーバで培った高性能、高信頼、高可用性、運用性の向上といった各種機能・技術、ノウハウをラックマウント可能なコンパクトな筐体(10U 約 445mm (1U: 約 44.5mm))に詰め込んだサーバです。
- ・メモリーサブシステムには「memory chip-sparing テクノロジー」を採用し、可用性を向上しています。また、管理プロセッサや SCSI や LAN インタフェースも二重化できます。これにより冗長化構成も行え、より信頼性向上が図れます。

「rp5470、rp5430」の特徴

- ・「rp5470」「rp5430」では、高速のシステムバス(合計バンド幅4.3GB/秒)、メモリバス(同4.3GB/秒)、I/Oバス(同3.2GB/秒,同2.1GB/秒)を採用しています。これらのバスは、それぞれ独立して動作可能であり、「rp5470」、「rp5430」でサポートされる最大数のプロセッサ、メモリを搭載した構成においてもシステムの性能を十分に引き出します。
- ・プロセッサには、2.25MB(命令用0.75MB、データ用1.5MB)のキャッシュメモリを内蔵し高性能化を実現した最新鋭PA-RISCプロセッサ「PA-8700+」(875MHz)を採用し、これをSMP構成で最大4プロセッサ(「rp5470」)または2プロセッサ(「rp5430」)まで拡張することができます。
- ・メモリはECC付き高速SDRAMを採用し、256MBから最大16GB(rp5470)/8GB(rp5430)まで拡張できます。また、「rp5430」から「rp5470」へのアップグレードにも対応しており、処理量の増加に合わせて柔軟にシステムを拡張していくことが可能です。

新製品の仕様

モデル		rp8400	rp7410	rp5470	rp5430
プロセッサ種	PA-8700+(875MHz)				
プロセッサ搭載数		2~16	2~8	1~4	1~2
キャッシュ	命令	0.75MB(on chip)/CPU			
	データ	1.5MB(on chip)/CPU			
メモリー容量		2~64GB	1~32GB	256MB~16GB	256MB~8GB
内蔵ディスク容量		18/36/73GB×4 (ホットプラグ対応)		18/36/73GB×4 (ホットプラグ対応)	
内蔵リムーバブル装置 (オプション)		DVD-ROM、DDS-4/DAT (ホットプラグ対応)		DVD-ROMまたは、DDS-3/DAT	
接続能力	標準 I/O ポート	Ethernet(10/100/1000Base-T)×1, 管理用 LAN×1,RS-232-C×3		Ethernet(10/100Base-TX)×1, 管理用 LAN×1,RS-232-C×3, Ultra2 SCSI×1	
		Ultra2 SCSI×1	Ultra160 SCSI×1		
	拡張スロット	PCI×16 スロット (ホットプラグ対応)	PCI×15 スロット (ホットプラグ対応)	PCI×10 (内8スロット ホットプラグ対応)	PCI×5 (ホットプラグ対応)
サポート OS		HP-UX 11i			
システム装置 外形寸法(W×D×H)mm *1		483×762×833 (ラック搭載時: 17U)	483×762×445 (ラック搭載時: 10U)	482×774×368:デスクサイド (ラック搭載時:8U)	
質量 *1		160.6kg	99.8kg	68kg	
電源		200V		100-200V	
消費電力(最大)		3.1kW(5.1kW)	1.7kW(3.0kW)	1,008W(1,360W)	798W(936W)
省エネ法に 基づく表示	区分	C	C	C	G
	エネルギー 消費効率 *2	0.12	0.11	0.13	0.12

*1: システム装置本体キャビネット

*2: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

記載の容量は、1KB(キロバイト)=1,024バイト、固定ディスク容量は1GB=10⁹バイトで計算した場合の数値です。
また、ユーザーがアクセスできる総容量は作業環境により変化します。

このニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。
発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。
